

科目	コンクリート構造 (Concrete Structures)		
担当教員	上中 宏二郎		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-2(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	本講義では、鉄筋コンクリート部材を主として弾性理論の視点から着目し、理解させることを目的としている。また、演習問題を豊富に取り入れ学習の理解を助ける。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-2】コンクリートと鉄筋の材料特性が理解できる。		コンクリートのヤング係数、ポアソン比、強度などを定期試験もしくはレポートなどにより評価する。
2	【A4-2】横拘束を受けるコンクリートの応力-ひずみ関係が理解できる。		鉄筋からコンクリートに作用する応力を、三次元応力場におけるフックの法則を定期試験もしくはレポートなどにより評価する。
3	【A4-2】曲げと軸力を受けるRC部材の耐力算定ができる。		曲げモーメントと軸力の相互関係図の概要を定期試験、もしくはレポートなどにより評価する。
4	【A4-2】RC部材のせん断耐力の算定ができる。		RCはりのトラス理論を定期試験もしくはレポートなどにより評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験80%、レポート20%として評価する。		
テキスト	「鉄筋コンクリートの解析と設計 - 限界状態設計法の考え方と適用 -」：吉川弘道（丸善）		
参考書	「コンクリート構造学」：小林和夫（森北出版） 「コンクリート構造」：田辺、檜貝、梅原、二羽（朝倉書店）		
関連科目	コンクリート工学，構造力学，材料学		
履修上の注意事項			

